

## 『お母さんの笑顔の力』 ピリピ人への手紙4章6～7節 2018.5.13 母の日礼拝説教・西岡まり子師[川越のぞみ教会]

『何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。』  
ピリピ人への手紙4章6～7節

誰よりも家庭で尽くす母への感謝は尽きない。一方「母の笑顔が大切」とも言われる。子どもは母親の顔色に敏感で、その笑顔で子どもは安心して他のことに集中できる！

❶母の笑顔の力！「いつも主にあって喜びなさい(ピリピ 4:4)」。どんな犠牲を払ってもイライラしては台無し！実は「笑顔」は脳のホルモンが関係する。喜び、感動、達成感には「ドーパミン」という快感ホルモンが関係し、母の笑顔で子供も嬉しく、ドーパミンが出る！心を落ち着かせるのが「セロトニン」！緊張や不安、恐れや怒りでは「ノルアドレナリン」…短期的には強さを出す、やがて疲れる！聖書に「何も思い煩うな」とあるが…

❷いつも笑顔でいられない現実！母親の現実は大変でその代名詞は「小言」…実はこれも女性の特性からくる。「思い煩い」とは一度に多くのことを考えること。ある心理学者は、「女性の脳は一度にあれこれ考え過ぎる」と。マタイ6:25-31に、心配から解放される秘訣が書いてある。全てをご存知の天の父なる神が、あなたの必要に答え、心配事を解決へ導いてくださると！

❸笑顔でいられなくても大丈夫…祈りが鍵…❶あらゆる場合に！色々な不満や怒りがある時、泣き寝入りせずどんな感情でも相手にしっかり伝えること！しかしそれを伝える前に、❷まず神に知っていただく！感情をそのまま人にぶつけると、相手も防衛態勢に入り、何が願いなのか見えなくなる。心の奥底の感情はあるがまま、まず神にぶつけて知っていただく！それが「祈り」！❸感謝をもって捧げる！私たちの祈りを聞かれる神は、あらゆる不条理の中にも感謝できることを思い出させて下さる。「人のすべての考えにまさる神の平安が、あなた方の心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれる(4:7)」ので、イエスを救い主として信じて、受け入れる人は、あらゆる失敗や挫折の中にも、自分に対する神の特別な計画があることを知る(エレミヤ 29:11)。

★思い煩い、グチ、心配事のすべてを聴いて、受け止め、分かったださった上で、信じる者に、平安と将来と希望を約束して下さるイエスが、今も生きておられ、不思議な平安をもって、信じる者の心と思い、家族を守ってくださる。